

カラーピーマンの地域ブランド野菜の確立と普及を目指して



北海道新十津川農業高等学校
代表者 久慈 千華

メンバー 伊藤 心音 黒澤 柚未 笹木 紀馨
山下 裕花 曾我部 結名 西道 天眞

目的

新十津川町は道内有数の稲作の産地で耕地面積の64%は水田、野菜は1.2%の作付面積です。稲作を中心に、タマネギ、メロン、ミニトマトなどたくさんの野菜が生産されていますが、高齢化、農業従事者数の減少により町内の農業はスマート農業の導入、複合経営化がさらに進むと考え、農業従事者が高齢化しても安定した収益を得られる作物を検討してみました。

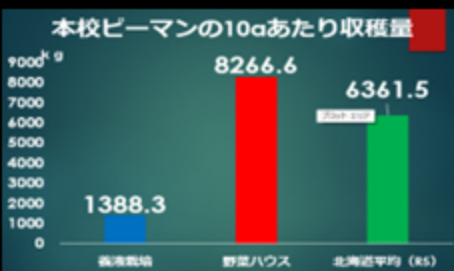
選定理由

3年間私達は、指定野菜のひとつピーマン生産に着目し研究を重ねてきました。ピーマンは北海道の作付面積、収穫量が減少していますが、**10a収穫量は24%増加**、比較的**軽量野菜**で、高齢者でも作業しやすいことがわかりました。そこで、人気の高いカラーピーマンの生産を加え研究を重ねることにしました。高品質で安定した収穫量を確保できれば、十分に経営に導入でき地域の農家にも普及していきたいと思います。

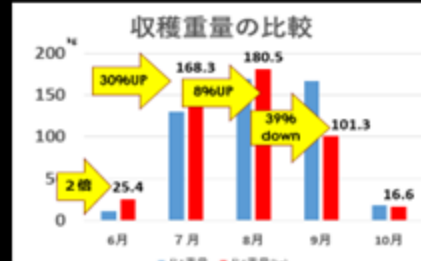
活動目標

- (1) 地域ブランド野菜を目指したカラーピーマン栽培の基礎研究の継続
- (2) みどりの食料システム戦略を踏まえ、廃棄ピーマンの堆肥化
- (3) 関係機関との連携による収穫量・品質・栄養価の評価

調査結果



R6実践 カラーピーマンの糖度測定



循環システムの構築

定植



製品

廃棄品

堆肥化

来年度園地に散布

活動写真

今年度は、廃棄ピーマンの堆肥化を進めることができ、環境に優しい循環システムを構築することができた。作物→生産→収穫→廃棄堆肥化の道筋を作ることができた。



施肥



播種



定植



定植



カラーピーマン 収穫調査



販売会



育苗ベッド 作り



整枝



収穫



第1号 カラーピーマン



収穫調査



第1号 カラーピーマン 収穫調査

考察・まとめ

以上の結果から、今年度新たな取り組みとしてカラーピーマンを研究題材とし、糖度、収量ともに可能性を感じることができました。また、堆肥化をすることにより、作物→生産→収穫→廃棄ピーマンの堆肥化の道筋を作ることができた。